

文化遺産防災国際シンポジウム

—文化遺産を大災害からどう守るか:ブルーシールドの可能性—

2015年12月13日(日) 午前10時00分~午後5時00分

会場: 京都国立博物館 平成知新館 講堂

聴講無料 同時通訳付き 定員先着200名

※聴講希望者は要事前登録申込 (WEB申込・FAX申込)

第50回文化財防火デー(教王護国寺:平成16年)

写真提供:京都市消防局

「文化財防火デー」は、昭和24年1月26日の法隆寺金堂焼損事故を契機として、文化財防災推進のため、所有者とともに消防庁と文化庁が継続して共同開催する全国的な消火訓練行事です。



鯨絵(文政2年)

写真提供:東京国立博物館

幕末期の安政元年は世情不穏で、京都は4月大火で禁裏が炎上、6月に近畿一円で大地震、11月には大地震津波が東海道一帯を襲い、翌安政2年(1855)10月に江戸大地震が起きました。

上方から評判の「なまずの化け物」が下ってきた、というイメージ。八百万の神を治める出雲大社神がこの難獣に怒り、光を放って要石に結び付け、鹿島大神宮がたづなを取って見世物の口上を述べている、という構図です。

主催 独立行政法人国立文化財機構 文化財防災ネットワーク推進本部
共催 「明日の京都」文化遺産プラットフォーム、
ICOM(国際博物館会議)日本委員会、
日本ICOMOS(国際記念物遺跡会議)国内委員会
後援 京都府、京都市、京都仏教会、京都府神社庁、
京都市内博物館施設連絡協議会、NPO法人古材文化の会



平成27年度美術館・歴史博物館重点分野推進支援事業

お問い合わせ: シンポジウム事務局
〒531-0072 大阪市北区豊崎3-20-1 インターグループビル (株式会社インターグループ内)
TEL 06-6372-3053 Mail bunkazai_symp@intergroup.co.jp

文化遺産防災国際シンポジウム

—文化遺産を大災害からどう守るか:ブルーシールドの可能性—

聴講無料
同時通訳付き

日本列島各地で災害への備えが課題とされ、世界文化遺産など大量の文化遺産が集積する歴史都市京都でも、大地震とそれに伴う大火災発生時の文化遺産救援活動が課題となっている。ユネスコは非常時の文化遺産の保護救援のため、関連国際 NGO 国内委員会からなるブルーシールド (BS) 国内委員会の設置と、その国際的国内的な貢献を求めている。英米豪などの先進的経験に学び、京都と日本での今後のあり方を、広く文化財所有者や関係専門家などと検討していきたい。

シンポジウム参加専門家(敬称略)

海外専門家

ピーター・ストーン(英国)、コリン・ウエグナー(米国)、スー・ハトリ(豪州)、バラト・ワラト(ネパール)、カイ・ワイズ(ネパール)、高橋暁(ユネスコ)

国内専門家

土岐憲三、竹下弘展、川崎保彰、栗原祐司、井口和起、佐々木丞平、地主智彦、矢野和之

シンポジウム構成

開会挨拶 独立行政法人国立文化財機構理事長 佐々木丞平 5分

基調報告 ユネスコ太平洋事務所企画専門官 高橋暁
「ユネスコ・BSの取組と日本の課題」 30分

海外報告 世界はブルーシールド(BS)にどう取り組んでいるか 120分

- 1) 国際BS委員会事務局長 ピーター・ストーン
「BS国際委員会が各国BS国内委員会に期待するもの」 30分
- 2) 米BS国内委員会 コリン・ウエグナー
「米国のBS国内委員会設立と海外での文化遺産救援活動」 30分
- 3) 豪BS国内委員会委員 スー・ハトリ
「オーストラリアはなぜBS国内委員会を設立したか」 30分

昼食休憩 65分

- 4) ネパールICOMOS委員長 カイ・ワイズ、ネパールICOM 委員長 バラト・ワラト
「ネパール大地震時の世界遺産都市カトマンズでの文化遺産や博物館の被災と救出救援復興」 30分

国内報告 京都の文化遺産を災害からどう守るか 90分

- 1) 立命館大学教授 土岐憲三「京都の文化遺産を地震火災から守る」 40分
- 2) 京都府教育委員会文化財保護課 竹下弘展「京都の文化財保護と防災の取組」 25分
- 3) 京都市消防局予防部文化財係長 川崎保彰「京都の文化遺産を火災から守る」 25分

休憩 20分

ディスカッション 「京都の文化遺産を災害からどう守るか」 80分

司会 栗原祐司 国立文化財機構文化財防災ネットワーク推進室長
パネリスト 助言者(国際BS代表、米BS代表、豪BS代表、ユネスコ)
井口和起 京都府立総合資料館顧問
佐々木丞平 京博連(京都市内博物館施設連絡協議会)会長
地主智彦 文化庁文化財調査官(美術学芸課歴史資料部門)
矢野和之 日本イコモス事務局長

閉会挨拶 京都仏教会事務局長 長澤香静 5分

会場アクセス



JRをご利用の場合

JR 京都駅下車、市バス京都駅前 D1 のりばから 100 号、D2 のりばから 206・208 号系統にて博物館・三十三間堂前下車、徒歩すぐ
JR 京都駅下車、JR 奈良線にて東福寺駅下車、京阪電車にて七条駅下車、徒歩 7 分

近鉄をご利用の場合

丹波橋駅下車、京阪電車丹波橋駅から七条駅下車、徒歩 7 分

京阪電車をご利用の場合

七条駅下車、東へ徒歩 7 分

阪急電車をご利用の場合

河原町駅下車、京阪電車祇園四条駅から大阪方面行きにて七条駅下車、東へ徒歩 7 分
又は、河原町駅下車、四条河原町から市バス 207 号系統にて東山七条下車、徒歩 3 分

市バスをご利用の場合

博物館・三十三間堂前下車徒歩すぐ、又は東山七条下車徒歩 3 分
京都駅前市バス D1 のりばから 100 号、D2 のりばから 206・208 号系統にて博物館・三十三間堂前下車、徒歩すぐ

プリンセスラインバスをご利用の場合

京都駅八条口のりばから 11・12 号系統にて東山七条下車、徒歩 1 分
四条河原町から 16・18 号系統にて国立博物館前下車、徒歩 1 分

※昼食場所等の情報は下記ウェブサイトに掲載

申込み方法【12月3日(木)締め切り】

F A X

文化遺産防災国際シンポジウム参加申込み用紙に必要事項をご記入の上、06-6376-2362 (シンポジウム事務局) までFAXにて送信してください。

ウェブサイト

シンポジウム事務局のウェブサイトの申し込みフォームよりお申し込みください。
<http://www.chdrm2015.com>

文化遺産防災国際シンポジウム 参加申込み用紙

申込み先 FAX:06-6376-2362 (シンポジウム事務局)

フリガナ					
お名前					
ご住所	〒				
ご連絡先 電話番号	メールアドレス	@	年齢		

●太枠内は必ず記入してください。(記入いただいた個人情報は本シンポジウムに関する事以外には利用いたしません。)

●お申込受付後、「参加証」をお送りいたしますので、当日ご持参の上受付にてご提示ください。